

2022年

登録切断穿孔基幹技能者

試験問題（90分）

注意事項

- 1、試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2、受講番号と氏名を解答用紙の所定の欄に必ず記入すること。
- 3、本冊子に落丁・乱丁・印刷不鮮明の個所などがあつた場合には、申し出ること。
- 4、答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出すること。ただし、試験開始30分以内の場合は、退室できないので、静かに着席していること。
- 5、解答の方法は次のとおりとする。
正解と思うものを（1～4）の中から1つだけ選択し、解答用紙の番号に○印にて記入すること。2つ以上記入した場合は、誤答となります。
- 6、解答を訂正する場合は、訂正する解答を消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入すること。
- 7、解答用紙の受講番号・氏名を正しく記入していない者は、採点せずに0点とすること。

[問題作成]

ダイヤモンド工事業協同組合
登録切断穿孔基幹技能者試験委員会

問題 1

登録基幹技能者の確保・育成・活用に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 建設生産現場の生産性の向上が期待される。
- ② 建設生産現場の安全衛生管理体制が期待される。
- ③ 登録基幹技能者を雇用・育成する優良な専門工事業者の受注機会の拡大が期待される。
- ④ 建設産業の担い手の確保・育成に大きく寄与することが期待される。

問題 2

公共工事における登録基幹技能者の評価・活用に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 公共工事における総合評価落札方式においても評価・活用されている。
- ② 国土交通省では、すべての地方整備局等で評価・活用されている。
- ③ 全国の都道府県・政令指定都市で評価・活用されている。
- ④ 都市再生機構等の独立行政法人においても評価導入されている。

問題 3

建設業は製造業よりも安全対策が難しいと言われるが、その理由として、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 作業内容が日々変化する。
- ② 他業種の専門工事業者が入場しない。
- ③ 雇用期間が短い。
- ④ 単品種受注生産である。

問題 4

品質管理における『QC 7つ道具』に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 特性要因図とは、品質管理上問題になっている特性とそれに関係する要因の因果関係を魚の骨のような形に整理する図である。
- ② 散布図とは、関連あると思われる2つの要因を縦軸と横軸にとって打点した図で、打点の分布の形状から2つの要因の関連が把握できる。
- ③ チェックシートとは、特性要因図等で整理された要因の発生状況を把握するためのシートである。
- ④ 管理図とは、チェックシート等で得られた要因の発生状況を棒グラフにしたもので、ばらつきの状況の評価に用いる。

問題 5

建設現場で毎日行われている安全施工サイクル活動に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 1日の安全施工サイクルとは、朝礼、作業前ミーティングから作業終了時の確認までの節目節目に作業場所の巡視や打合せを盛り込んだ安全管理サイクルのことをいう。
- ② 元方事業者は、関係請負人に対し、毎日、その労働者を集め、作業開始前の安全衛生打合せをするよう指導する必要がある。
- ③ リスクアセスメントの目的は積極的な災害防止活動を行うためではない。
- ④ 危険予知（KY）活動は、災害発生要因を先取りし、現場や作業に潜む危険性、有害性を自主的に発見し、その問題点を解決する活動で、小集団で行われる。

問題 6

価格戦略について、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① 価格と経営は密接な関係である。
- ② “利は元にある”とは、とにかく安く仕入れて高く売ることである
- ③ 一般的に寡占価格は競争が激しい
- ④ 売り手が市場（均衡）価格を最終的に決定する

問題 7

OJTは、職場の上司が部下育成のために、日常の作業を通して行う指導・教育のことであり、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 上司の仕事そのものであるとの認識のもとにOJTを行う。
- ② 部下の能力レベル合わせた指導育成の目標を立てる。
- ③ OJTの実施により一般的に業績低下が生じるのはやむをえないとされる。
- ④ 組織外の実態、考え方などに触れて視野を拡大する機会を提供する。

問題 8

建設業の特徴について、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① 屋内現地単品生産であり、自然現象の影響を受けにくい。
- ② コンクリート切断業界は分散型市場（多数乱戦業界）であり、参入障壁は高い。
- ③ 資本集約型産業であり、とにかく時間短縮が生産性を向上させる。
- ④ 内需比率が高い基幹産業であり、現地調達・現地生産が原則である。

問題 9

労働安全衛生法について述べた、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① 主として使用者と労働者という雇用関係を前提として、最低基準の確保に重点を置いた規制の仕方をしている。
- ② 火薬類の製造、販売、貯蔵、運搬、消費等の取扱いを規制している。
- ③ 工事現場付近の通行者や通行車両と事故を起こした時に適用される。
- ④ 幅広い総合的な対策の促進を目的として規制されており、労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境の形成を促進する事を目的とする。

問題 10

工程管理の意義について、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① 工事の施工にあたっては、決められた工期内に仕上げる事だけに専念しなければならない。
- ② 工程管理は、着工から完成までの工程系列の単なる時間的管理でなければならない。
- ③ 工程管理の直接の目的は工期内の完成であるが、工事の品質は各工程において作りこまれ、工事の原価も各工程において発生する。したがって、工程計画の適否が工事の良否を決定する。
- ④ 受注者側の工程管理に、工事経営（能率的・経済的）の管理を加えてはならない。

問題 11

作業標準書による施工品質の確保・向上における段取り八分とは、【PDCAサイクル】の何に該当するのか、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① P: Plan (計画を立てる)
- ② D: Do (計画に基づき実行する)
- ③ C: Check (結果と計画を比べて検討する)
- ④ A: Action (適切な処置を施す)

問題 12

OJTは、職場の上司が部下育成のために、日常の作業を通して行う指導・教育のことであり、【目標の設定】に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 日常の仕事を通じて行う指導・教育が可能な目標・項目であること。
- ② 部下が意欲をもって取り組めるものであること。
- ③ 目標はできるだけ大きくハードルが高いこと。
- ④ 目標は設定期間終了時に評価が可能であること。

問題 13

工事検査に関連する事項に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 品質は工程で造り込み、検査では作れない。
- ② 出来形管理とは、工事の進捗管理のことをいう。
- ③ 切断施工の用途や目的、直線、曲線、折線（角度）を確認する。
- ④ 穿孔作業の用途、目的、穿孔の口径・深さ・数量を確認する。

問題 14

OJTは、職場の上司が部下育成のために、日常の作業を通して行う指導・教育のことであり、【指導方法】に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 指導で大切なことは、指示通りにやらせることである。
- ② 指導で大切なことは、自分で考え、工夫させ、それを試させることである。
- ③ 指導で大切なことは、試させた結果を評価することである。
- ④ 指導の手法には、「教える」「見習わせる」「経験させる」「自己啓発させる」ことである。

問題 15

労働安全衛生法第26条には「作業員が守らなければならない6つの義務が定められている」。次の記述のうち、【6つの義務に該当しない事項】を選択し、その番号に○印をつけよ。

- ① 安全状態を保つ義務
- ② 保護具の着用・使用義務
- ③ 危険行動の禁止義務
- ④ 定期自主検査の義務

問題 16

工程管理の手順のうち、計画の段階の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 施工計画
- ② 発注計画
- ③ 使用計画
- ④ 工程計画

問題 17

施工管理（Q・C・D・S・E）について、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① Q（品質）は、施工管理において最優先事項である。
- ② C（価格）は、施工管理において最優先事項である。
- ③ D（工程）は、施工管理において最優先事項である。
- ④ S（安全）は、施工管理において最優先事項である。

問題 18

コンクリート切断業者の資材管理について、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① 切断機械は減価償却資産なので資材管理には関係しない。
- ② 刃物は消耗品なので資材管理には関係しない。
- ③ コンクリート切断は解体業なので一般的な建築材料資材の資材管理には関係しない。
- ④ 受注能力の算出には資材管理は関係しない。

問題 19

建設業法の【目的】に関する下記の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 下請負人の保護。
- ② 建設業を営む者の資質の向上。
- ③ 建設工事の請負契約の適正化等。
- ④ 建設工事の適正な施工を確保。

問題 20

見積原価の管理の【見積時の確認事項】に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 現場条件の確認
- ② 設計図書、施工図等の確認
- ③ 工程の確認
- ④ 安全管理の確認

問題 21

「現場における原価管理は、実行予算という原価目標を達成することである」とされる、実行予算書作成に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 確定した契約金額から利益等を残して作成する。
- ② 社長が管理しやすいように作成する。
- ③ 材工の場合は材料費と労務費は分けて作成する。
- ④ 実際に注文したり手配したりする数量で算定して作成する。

問題 22

作業改善の目標について、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 疲労の軽減・・・疲労はできるだけ少なく、かつ安全に作業ができるように改善する。
- ② 品質の向上・・・作業はその出来栄が良くなるような方法に改善する。
- ③ 経費の削減・・・現場では経費削減を考慮しながら作業する。
- ④ 時間の短縮・・・作業は出来るだけ時間のかからないように労務配分を集中させる。

問題 23

原価管理では、元請対応が重要である。次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 毎日の作業日報で契約内と契約外工事を明確にしておく。
- ② 作業日報は工事完了時期にまとめて元請に提出する。
- ③ 契約外の追加・変更工事の追加・変更契約及び支払いの請求をする。
- ④ 契約外常用工事の請求書により常用精算する。

問題 24

設計品質と施工品質に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 設計品質とは、発注者自身も関わって決め、製品の内容を示すねらいの品質である。
- ② 施工品質は、設計品質に関係なく、施工実態やコスト等を考慮して無理なく実現できるように施工者が決める品質である。
- ③ 設計図書に特定メーカーの製品を特記したり、施工方法を指示したりするなどして作り方を具体的に定めるものを「仕様規定」という。
- ④ 詳細な方法を規定しないで、求める品質を明示し、それが満たされればよいとするのが「性能規定」である。

問題 25

コンクリート切断業者の資材管理として、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① コアドリリングは関連資材が多く、参入障壁も最も高い。
- ② ロードカッターは関連資材が少なく、参入障壁も最も低い。
- ③ ワイヤソーはコアドリリングを併用することが多く、関連資材が多い特徴がある。
- ④ ウォールソーはロードカッターよりブレードの種類が多く、参入障壁もロードカッターより高い。